

NICHIKO Journal



日医工
ジャーナル

日本における最新の
医療機器情報と
トレンドを伝える

Vol.51 No.431

2025.2-3

座談会

医療ツーリズムの現状と 国際医療コーディネーターの役割

- 山田 紀子 氏 日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
国際医療事業部 部長
- 山本 修 氏 IMS グループ 株式会社アイセルネットワークス
国際事業部 部長
- 若林 恒平 氏 株式会社 SMC 東京事務所
メディカルツーリズム部 チーフマネージャー
- 田中 耕太郎 氏 メディポリス国際陽子線治療センター
事業推進本部 医療連携推進部 部長



山田 紀子 氏
日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
国際医療事業部 部長

インタビュー

浜松医科大学が出資し、 産学官連携を行う はままつ共創リエゾン奏^{かなで}を設立

- 山本 清二 氏 株式会社はままつ共創リエゾン奏 代表取締役/
脳神経外科 医師
- 鈴木 正人 氏 株式会社はままつ共創リエゾン奏 取締役/
プロデュース部門 長



山本 清二 氏
株式会社はままつ共創リエゾン奏 代表取締役
脳神経外科 医師

会誌 「日医工ジャーナル」
Vol.51 No.431 (年4回発行)
発行日 2025年3月31日
発行所 一般社団法人 日本医療機器工業会
〒113-0033 東京都文京区本郷3-39-15
電話 03-3816-5575 (代)
FAX 03-3816-5576

編集制作 株式会社デュナミス
広報企画委員会
管理理事 林正晃
委員長 久保美隆
副委員長 片岡佳奈子
委員 田代光正 穴田輝彦 樋口久人
佐久間太郎

定価 1,100円(税込価格)(会員無料)

【巻頭言】

マクロからミクロを見る「クセ」を更につけよう!

— Japan Health をきっかけに — 02

松本 謙一 一般社団法人 日本医療機器工業会 理事長

【座談会】

医療ツーリズムの現状と国際医療コーディネーターの役割 03

山田 紀子氏 日本エマーゼンシーアシスタンス株式会社 国際医療事業部 部長

山本 修氏 IMS グループ 株式会社 アイセルネットワークス 国際事業部 部長

若林 恒平氏 株式会社 SMC 東京事務所 メディカルツーリズム部 チーフマネージャー

田中 耕太郎氏 メディボリス国際陽子線治療センター 事業推進本部 医療連携推進部 部長

【インタビュー】

浜松医科大学が出資し、

産学官連携を行う ^{かなで} はままつ共創リエゾン奏を設立 07

山本 清二氏 株式会社 はままつ共創リエゾン奏 代表取締役 / 脳神経外科 医師

鈴木 正人氏 株式会社 はままつ共創リエゾン奏 取締役 / プロデュース部門長

東京都が認定するインキュベーション施設

若手の鋼製医療器械職人の育成拠点

ITABASHI Co-working Factory がオープン 10

金井 しのぶ氏 ITABASHI Co-working Factory インキュベーションマネージャー /
株式会社 マイステック 代表取締役

【リクルート座談会】

国内医療機器業界の新卒採用をどのように考えるか (後編) 13

堀野 賢一郎氏 専修大学 キャリアセンター 事務部 次長 (大学職業指導研究会 事務局長)

成澤 崇禎氏 拓殖大学 就職キャリアセンター 就職部 就職課長 (全国私立大学就職指導研究会 事務局長)

瀧野 瀬 浩晃氏 サクラファインテックジャパン株式会社 人事・総務部 部長

兒玉 友氏 アトムメディカル株式会社 HR コネクテッド部 人事総務課 課長代理

相宮 直紀氏 公益財団法人 医療機器センター 機機なび担当 主任

【会員企業紹介】

目標は微細手術用の手術支援ロボットの開発 16

三洲電線株式会社

鈴木 与志成氏 三洲電線株式会社 代表取締役社長

【委員会活動】

手術用メスと医療保険の両委員会が連携し

サージカルスモーク対策の保険適用を目指す 19

橋内 和也氏 手術用メス委員会 主査 / 株式会社 アムコ 技術部 東日本エリア 課長

島田 浩幸氏 医療保険委員会 委員長 / PHC 株式会社 医療政策渉外部 医療政策渉外課 主席

【最先端医療機器を探る】

TreMdevice トレンデバイス

外科手術視覚支援プログラム医療機器『Eureka α』

AI技術を用いて「疎性結合組織」をリアルタイムで強調表示 21

アナウト株式会社

会員情報 / 読者の声 / 編集後記 22



シンボルマークについて

最初の文字「J」と最後の文字「I」に位置する二つの球体は、最初に行われる「開発」から機器の性能維持に不可欠な最後の「メンテナンス」にいたるまでの全工程を意味している。そしてその二つの球を、無限の可能性を記す「∞」で結び、当工業会の視野の大きさ、工業会会員の幅の広さ、さらに医療機器産業の限らない希望を示している。色は積極的な活動を象徴するレッド、そして清潔感と調和のとれた理性を象徴するグリーン。それを全体的に結びつけることで、工業会会員同士の連携や相乗効果も表現している。